

記 録

岡山県におけるクロヨシノボリ (スズキ目, ハゼ科) の記録

矢掛町 江木 寿男

Records of *Rhinogobius brunneus* (Perciformes, Gobiidae) in Okayama Prefecture

Hisao EGI, Yakage-Town

はじめに

クロヨシノボリ *Rhinogobius brunneus* は、秋田県牡鹿半島から九州の日本海側、千葉県以南の太平洋側の本州、四国、九州、隠岐、対馬、五島列島、種子島、屋久島、琉球列島などで記録があるスズキ目ハゼ科の魚類である（細谷編, 2015）。細谷編（2015）では、各県ごとの分布が示されており岡山県も本種の自然分布域として着色されているが具体的なデータは明記されておらず、「岡山県野生生物目録2009」（岡山県生活環境部自然環境課, 2009）に記載はない。インターネット上では若干の確認情報はあるが、詳細は不明である。今回、岡山県東部の3水系において本種の具体的な記録を得ることができたので、その概要を報告することとした。なお、水生生物は生息場所の特定が容易で、かつ観賞用の捕獲販売にさらされることが多いので保護のため地名の公表は差し控えることとした。

1 水系目の確認概要

2015年11月24日、河口から約1km、川幅約1mの河川において、水生昆虫を採集中に早瀬の下流にタモ網を受けて石を動かしたところ本種と思われる個体が網に入った。アクリル製の水槽に移しかえて観察しデジタルカメラで本件個体を撮影した（写真1）。本件個体は淡水域に生息してお

り、体型が円筒形で太短いこと背鰭を2つ備えていること、眼から吻にかけて赤く太い線を備えていることからヨシノボリ類であることは容易に判断できた。また、眼から吻にかけての赤い線が極太なこと、体側の中央に断続的な黒色縦帯を認められたこと、尾鰭基底に3個の暗色斑が認められたことからクロヨシノボリの雌と同定した。標本は筆者が保管している。当地では1個体のみ確認された。

2 水系目の確認概要

2016年9月17日、河口から約0.3km、川幅約2mの河川において、水生昆虫を採集中に石ごとタモ網に蹴り入れたところ本種と思われる個体が網に入った。アクリル製の水槽に移しかえて観察し、本件個体も同様の特徴を有していたことからヨシノボリ類であることは容易に判断できた。また、眼から吻にかけての赤い線が極太なこと、第1背鰭の中央が伸長していることからクロヨシノボリの雄と同定した（写真2）。1個体のみ標本として筆者が保管し、残りは放流した。下流に堰堤があることから陸封されている可能性も考えられた。当地では5個体確認され、他にシマヨシノボリが確認された。

3 水系目の確認概要

2016年11月24日、河口から約0.5km、川幅約2mの河川において、水生昆虫を採集中に石ごとタモ網に蹴り入れたところ本種と思われる個体が網

連絡先：egim@mx3.tiki.ne.jp

に入った。本件個体も同様の特徴を有していたことからヨシノボリ類であることは容易に判断できた。また、眼から吻にかけての赤い線が極太なこと、第1背鰭下に1つ、第2背鰭下に2つ、尾柄上部に鞍状点群があること、尾鰭基底に3個の暗色斑が認められたことからクロヨシノボリの雌と同定した（写真3）。この水系は小型の個体が多かったためすべて放流した。下流に堰堤があることから陸封されている可能性も考えられた。当地では9個体確認されたが、他の魚類は確認できなかった。

まとめ

今回の確認地点は、1水系目と2水系目は約10 km離れている。2水系目と3水系目は約2 km離れており、尾根を挟んで近接しているものの上流は急傾斜なうえに水が枯渇しており魚類の移動が制限されている。さらに、道路もなく樹林内を強引に通行しないと人の行き来も不可能な状況である。これらの事実を考慮すると、今回確認されたすべての地点で別々に人為移入されたと考えよりは自然分布と考えた方が妥当と思われた。いずれの地点も魚の種類および個体数とも少なく、淡

水魚を採集する者としては魅力的でない場所であるので、注目されることもなく今日まで細々と生き延びてきた可能性が高い。

本種は、現状で既知産地・個体数が3水系20個体弱であり、情報が不足していることは間違いのない。ただ、本種が元来、両側回遊性の魚類であることを考慮すると周辺の水系に海を通して分散していることも考えられ、詳細な調査を行えば新たな産地が見出されるかもしれない。

謝 辞

広島市在住の吉郷英範氏には本種の同定についてご教授いただいた。記してお礼申し上げます。

引用文献

細谷和海編監修・内山りゅう写真・藤田朝彦・武内啓明・川瀬成吾解説, 2015. 山溪ハンディ図鑑15日本の淡水魚. 528pp. 山と溪谷社, 東京
岡山県生活環境部自然環境課, 2009. 岡山県野生生物目録2009. 379pp. 岡山県生活環境部自然環境課, 岡山.



写真1. 1水系目のクロヨシノボリ雌 (2015年11月24日).



写真2. 2水系目のクロヨシノボリ雄 (2016年9月17日).

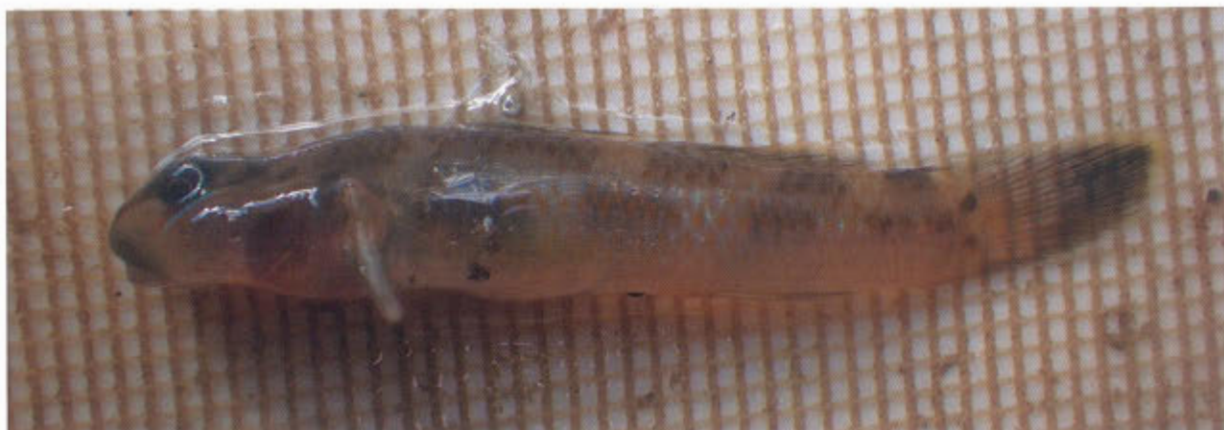


写真3. 3水系目のクロヨシノボリ雌 (2016年11月24日).